日清オイリオグループ株式会社　決算補足資料

2026年度（2027年3月期）第2四半期（中間期）

1．　決算概要

1-1.　2026年度　第2四半期（中間期）決算
1-2.　セグメント別実績
1-3.　セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）
1-4.　セグメント情報詳細

2．　2026年度業績予想

2-1.　2026年度業績予想
2-2.　セグメント別予想
2-3.　セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）
2-4.　セグメント情報詳細

3．　主な指標

3-1.　経営目標
3-2.　BS項目
3-3.　CF項目

1. 決算概要

1-1. 2026年度 第2四半期（中間期）決算

単位：百万円

	2026年度 第2四半期（中間期）	2025年度 第2四半期（中間期）	前年同期比増減	前年同期比
売上高	301,889	269,921	+31,967	111.8%
海外売上高比率	31.5%	29.1%	–	–
営業利益	12,216	6,972	+5,244	175.2%
売上高営業利益率	4.0%	2.6%	–	–
経常利益	10,097	5,971	+4,125	169.1%
親会社株主に帰属する中間純利益	6,832	18,508	△11,675	36.9%

1-2. セグメント別実績

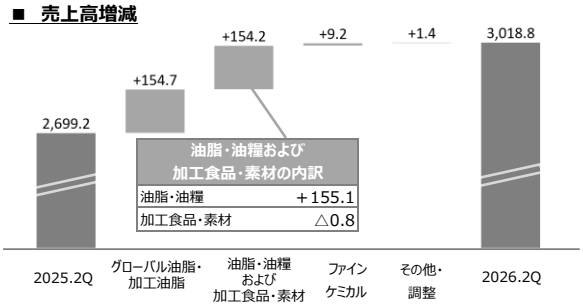
単位：百万円

	2026年度 第2四半期（中間期）	2025年度 第2四半期（中間期）	前年同期比増減	前年同期比
売上高	301,889	269,921	+31,967	111.8%
グローバル油脂・加工油脂	81,036	65,566	+15,470	123.6%
油脂・油糧および加工食品・素材	206,946	191,520	+15,425	108.1%
油脂・油糧	169,794	154,284	+15,510	110.1%
加工食品・素材	37,151	37,236	△85	99.8%
ファインケミカル	8,535	7,612	+923	112.1%
その他・調整	5,371	5,222	+149	102.9%
営業利益	12,216	6,972	+5,244	175.2%
グローバル油脂・加工油脂	4,105	1,447	+2,657	283.6%
油脂・油糧および加工食品・素材	7,331	4,841	+2,490	151.4%
油脂・油糧	5,794	2,779	+3,015	208.5%
加工食品・素材	1,536	2,062	△525	74.5%
ファインケミカル	935	873	+61	107.1%
その他・調整	△155	△189	+34	–

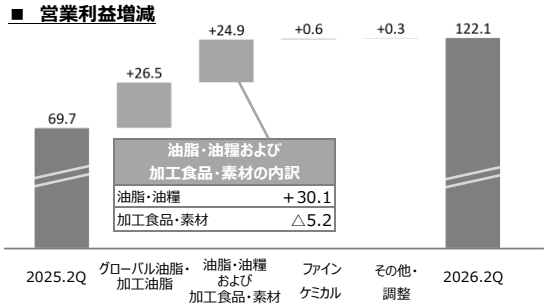
1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



<売上高増減要因>
○グローバル油脂・加工油脂
・販売数量増加および販売単価上昇（↑）
・為替換算の影響（↑）
○油脂・油糧および加工食品・素材
（油脂・油糧）
・油脂、ミールの販売単価上昇（↑）
・油脂の販売数量増加（↑）
（加工食品・素材）
・国内チョコレートの販売数量増加（↑）
・海外チョコレートの販売単価低下（↓）
○ファインケミカル
・国内での化粧品原料の販売数量増加および販売単価上昇（↑）

<営業利益増減要因>
○グローバル油脂・加工油脂
・パーム油取引の時価評価損益による影響（↑）
・為替換算の影響（↑）
○油脂・油糧および加工食品・素材
（油脂・油糧）
・価格改定による販売単価上昇（↑）
・油脂の販売数量増加（↑）
・油脂コスト上昇および物流費等の販管費増加（↓）
（加工食品・素材）
・チョコレートの原価上昇による粗利単価低下（↓）
○ファインケミカル
・国内での化粧品原料の販売数量増加および粗利単価向上（↑）

1-4. セグメント情報詳細

グローバル油脂・加工油脂

単位：百万円

増減額は前年同期比

	売上高		営業利益増減額	コメント
	実績	増減額		
ISFグループ	100,608	+23,063	+2,940	・販売数量増加および販売単価上昇に加え、為替換算の影響もあり増収 ・パーム油取引の時価評価損益（当期＋15.5億円、前期△11.5億円）の影響に加え、為替換算の影響もあり増益
欧州	32,747	+5,342		
アジア	60,205	+16,912		
その他地域	7,654	+808		
他子会社・連結調整	△19,572	△7,593	△282	
グローバル油脂・加工油脂 計	81,036	+15,470	+2,657	

補足：ISFグループの販売数量増減率
（増減率は前年同期比）

	販売数量増減率
ISFグループ	+9%
欧州	△8%
アジア	+19%
その他地域	△5%

補足：ISFグループに占める
チョコレート用油脂

売上高	販売数量増減率
30,604	△15%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	△3.5	チョコレート用油脂（＋1.5）、その他（△5.0）
販売単価要因	+20.5	チョコレート用油脂（＋6.0）、その他（＋14.5）
コスト要因	△19.5	
原料代	△26.5	
製造費 他	+7.0	
販管費・その他	+4.0	
パーム油取引時価評価	+27.0	当期+15.5、前期△11.5
合計	+28.5	

油脂・油糧および加工食品・素材の「油脂・油糧」

単位：百万円

増減額は前年同期比

	売上高		営業利益増減額	コメント
	実績	増減額		
油脂・加工油脂	111,336	+9,966	+2,991	・油脂、ミールの販売単価上昇および油脂の販売数量増加により増収 ・油脂コスト上昇も、油脂の販売単価上昇および販売数量増加により増益
業務用・加工用	68,933	+7,467		
ホームユース	33,671	+1,415		
加工油脂	8,731	+1,083		
ミール	41,836	+3,914		
子会社・連結調整	16,622	+1,629	+24	
油脂・油糧 計	169,794	+15,510	+3,015	

補足：油脂・加工油脂の
販売数量の増減率

増減率（前年同期比）	
業務用・加工用	+3%
ホームユース	△1%
加工油脂	+5%

補足：油脂・加工油脂に占める
マーケティング・機能型製品

売上高
37,522

補足：油脂・加工油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
業務用・加工用・ホームユース	+27.0	
販売数量要因	+5.5	業務用・加工用（＋2.5）、ホームユース（＋3.0）
販売単価要因	+72.0	業務用・加工用（＋59.0）、ホームユース（＋13.0）
コスト要因	△46.0	
大豆	△39.5	C&F（△46.0）、為替（△27.5）、ミール販売（＋34.0）
菜種	△30.0	C&F（△25.5）、為替（△18.5）、ミール販売（＋14.0）
その他商品・製造費	+23.5	期首期末在庫影響、オリーブオイルの原価低下、歩留改善等
販管費・その他	△4.5	
加工油脂	+3.0	
合計	+30.0	

油脂・油糧および加工食品・素材の「加工食品・素材」

単位：百万円

増減額は前年同期比

	売上高		営業利益増減額	コメント
	実績	増減額		
チョコレート	22,260	△594	△682	・国内の販売数量増加も、海外の販売単価低下により減収 ・原価上昇による粗利単価低下により減益
機能素材・食品	4,030	△64	△32	・MCTは販売単価上昇により増収も、全体では販売数量減少により減収減益
MCT	3,141	+54		
調味料、大豆素材・食品	13,142	+676	+204	・食品大豆の販売数量増加により増収 ・ドレッシングの販売単価上昇により増益
連結調整	△2,282	△102	△15	
加工食品・素材 計	37,151	△85	△525	

1-4. セグメント情報詳細

ファインケミカル

単位：百万円

増減額は前年同期比

	売上高		営業利益増減額	コメント
	実績	増減額		
ファインケミカル製品	10,087	+936	+108	・国内での化粧品原料の販売数量増加および販売単価上昇により増収増益
連結調整	△1,551	△13	△46	
ファインケミカル　計	8,535	+923	+61	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
7,021	+984

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2025年度第2四半期	146.02	168.05	34.24	20.29	0.0089
2026年度第2四半期	159.49	184.43	39.55	23.54	0.0090

2. 2026年度業績予想

2-1. 2026年度業績予想

単位：百万円

	2026年度 予想	2025年度 実績	前期比増減	前期比	(参考) 2026年度8月開示
売上高	590,000	554,251	+35,748	106.4%	590,000
営業利益	19,000	17,027	+1,972	111.6%	19,000
経常利益	18,000	16,030	+1,969	112.3%	18,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,000	23,988	△11,988	50.0%	12,000

2-2. セグメント別予想

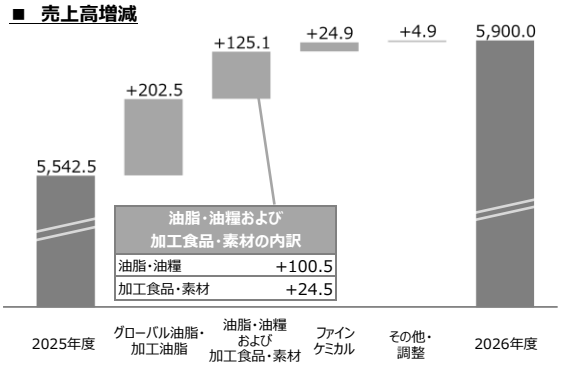
単位：百万円

	2026年度 予想	2025年度 実績	前期比増減	前期比	(参考) 2026年度8月開示
売上高	590,000	554,251	+35,748	106.4%	590,000
グローバル油脂・加工油脂	159,100	138,848	+20,251	114.6%	149,050
油脂・油糧および 加工食品・素材	402,100	389,586	+12,513	103.2%	411,950
油脂・油糧	321,600	311,544	+10,055	103.2%	328,400
加工食品・素材	80,500	78,042	+2,457	103.1%	83,550
ファインケミカル	18,000	15,509	+2,490	116.1%	18,650
その他・調整	10,800	10,307	+492	104.8%	10,350
営業利益	19,000	17,027	+1,972	111.6%	19,000
グローバル油脂・加工油脂	6,300	4,766	+1,533	132.2%	6,900
油脂・油糧および 加工食品・素材	11,350	11,124	+225	102.0%	10,600
油脂・油糧	8,600	6,706	+1,893	128.2%	7,600
加工食品・素材	2,750	4,418	△1,668	62.2%	3,000
ファインケミカル	1,700	1,559	+140	109.0%	1,850
その他・調整	△350	△422	+72	−	△350

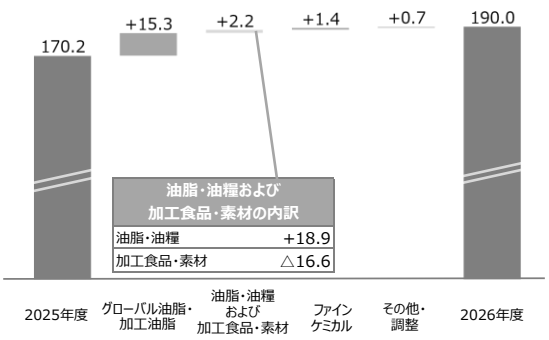
2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



<売上高増減要因>
○グローバル油脂・加工油脂
・チョコレート用油脂の販売数量増加（↑）
・販売単価上昇（↑）
○油脂・油糧および加工食品・素材
（油脂・油糧）
・油脂、加工油脂、ミールの販売単価上昇（↑）
・油脂、加工油脂の販売数量増加（↑）
（加工食品・素材）
・国内チョコレートの販売数量増加（↑）
・国内外チョコレートの販売単価低下（↓）
・醸造用ミールの販売単価上昇（↑）
○ファインケミカル
・国内での化粧品原料の販売数量増加および販売単価上昇（↑）

<営業利益増減要因>
○グローバル油脂・加工油脂
・チョコレート用油脂の販売数量増加（↑）
・粗利単価向上（↑）
・パーム油取引の時価評価損益による影響（↑）
○油脂・油糧および加工食品・素材
（油脂・油糧）
・価格改定による販売単価上昇（↑）
・油脂の販売数量増加（↑）
・油脂コスト上昇および物流費等の販管費増加（↓）
（加工食品・素材）
・チョコレートの原価上昇による粗利単価低下（↓）
○ファインケミカル
・国内での化粧品原料の販売数量増加および粗利単価向上（↑）

2-4. セグメント情報詳細

グローバル油脂・加工油脂

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益増減額	コメント
	予想	増減額		
ISFグループ	193,609	+28,666	+1,985	・販売単価上昇およびチョコレート用油脂の販売数量増加に加え、為替換算の影響もあり増収 ・粗利単価向上およびチョコレート用油脂の販売数量増加に加え、パーム油取引の時価評価損益（当期0.0億円、前期△11.5億円）の影響もあり増益
欧州	66,734	+12,188		
アジア	112,014	+18,018		
その他地域	14,859	△1,539		
他子会社・連結調整	△34,509	△8,414	△451	
グローバル油脂・加工油脂 計	159,100	+20,251	+1,533	

補足：ISFグループの販売数量増減率
（増減率は前期比）

	販売数量増減率
ISFグループ	+3%
欧州	△0%
アジア	+5%
その他地域	△5%

補足：ISFグループに占める
チョコレート用油脂

売上高	販売数量増減率
70,781	+8%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	△4.0	チョコレート用油脂（＋5.0）、その他（△9.0）
販売単価要因	+64.0	チョコレート用油脂（△2.0）、その他（＋66.0）
コスト要因	△57.5	
原料代	△46.0	
製造費 他	△11.5	
販管費・その他	+4.0	
パーム油取引時価評価	+11.5	当期0.0、前期△11.5
合計	+18.0	

油脂・油糧および加工食品・素材の「油脂・油糧」

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益増減額	コメント
	予想	増減額		
油脂・加工油脂	229,008	+23,966	+2,154	・油脂、加工油脂の販売数量増加および、油脂、加工油脂、ミールの販売単価上昇により増収 ・油脂コスト上昇も、油脂の販売単価上昇および販売数量増加により増益
業務用・加工用	143,256	+18,428		
ホームユース	67,389	+3,310		
加工油脂	18,363	+2,228		
ミール	88,321	+13,000		
子会社・連結調整	4,269	△26,911	△260	
油脂・油糧 計	321,600	+10,055	+1,893	

補足：油脂・加工油脂の
販売数量の増減率

増減率（前期比）	
業務用・加工用	+2%
ホームユース	△3%
加工油脂	+4%

補足：油脂・加工油脂に占める
マーケティング・機能型製品

売上高
75,928

補足：油脂・加工油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
業務用・加工用・ホームユース	+18.5	
販売数量要因	+6.5	業務用・加工用（＋3.5）、ホームユース（＋3.0）
販売単価要因	+204.0	業務用・加工用（＋164.0）、ホームユース（＋40.0）
コスト要因	△177.0	
大豆	△80.0	C&F（△136.5）、為替（△48.5）、ミール販売（＋105.0）
菜種	△78.5	C&F（△87.5）、為替（△36.5）、ミール販売（＋45.5）
その他商品・製造費	△18.5	エネルギーコスト上昇等
販管費・その他	△15.0	
加工油脂	+3.0	
合計	+21.5	

油脂・油糧および加工食品・素材の「加工食品・素材」

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益増減額	コメント
	予想	増減額		
チョコレート	50,925	+517	△1,915	・主に国内チョコレートの販売数量増加により増収 ・原価上昇による粗利単価低下により減益
機能素材・食品	8,070	+36	+2	・販売数量減少も販売単価上昇により増収 ・営業利益は販売数量減少も販管費減少により前期並み
MCT	6,359	+239		
調味料、大豆素材・食品	26,129	+1,999	+277	・醸造用ミールの販売単価上昇により増収 ・ドレッシングの販売単価上昇により増益
連結調整	△4,625	△95	△32	
加工食品・素材 計	80,500	+2,457	△1,668	

2-4. セグメント情報詳細

ファインケミカル

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益増減額	コメント
	予想	増減額		
ファインケミカル製品	20,520	+1,587	+175	・国内での化粧品原料の販売数量増加および販売単価上昇により増収増益
連結調整	△2,520	+902	△34	
ファインケミカル 計	18,000	+2,490	+140	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
14,384	+1,844

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート （期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2025年度	150.67	174.64	36.26	21.22	0.0091
2026年度	159.35	183.68	39.46	23.55	0.0090

3．主な指標

3-1．経営目標

	単位	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想
売上高	百万円	530,878	554,251	590,000
営業利益	百万円	19,278	17,027	19,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	12,850	23,988	12,000
ROE	%	7.0%	12.1%	5.7%
ROIC	%	4.6%	4.5%	4.2%

3-2．BS項目

	単位	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想
総資産	百万円	388,242	451,185	451,500
運転資本	百万円	149,307	167,291	178,500
自己資本	百万円	187,146	210,222	216,500
有利子負債	百万円	90,762	118,282	112,500
投下資本	百万円	277,908	328,504	329,000
自己資本比率	%	48.2%	46.6%	48.0%
ネットD/Eレシオ	倍	0.39	0.47	0.45

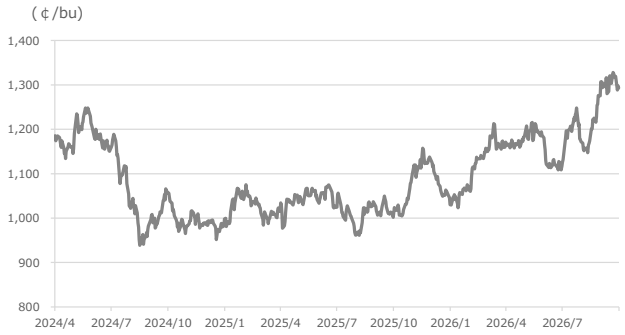
3-3．CF項目

	単位	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想
営業キャッシュフロー	百万円	21,166	10,460	14,000
投資キャッシュフロー	百万円	△ 9,590	△ 9,832	△ 13,500
財務キャッシュフロー	百万円	△ 13,885	8,231	△ 11,000

参考資料

出典：Bloomberg

■ シカゴ大豆相場



■ ICE菜種相場



■ オイルバリュー推移



■ 為替相場（円/ドル）



■ パーム原油相場



■ カカオ相場

